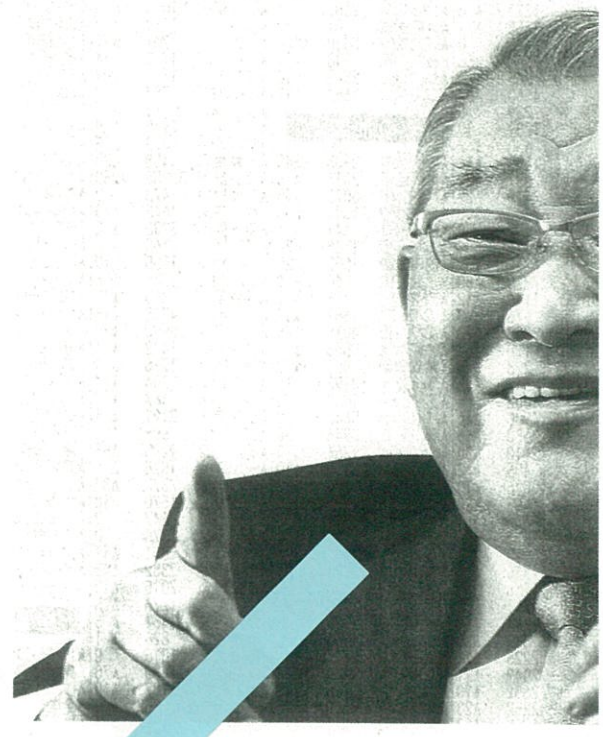
黎明期 関西



私のかんさい

1985年ごろ、カプコン創業直後のイベントでの様子

■カプコンの創業者で会長兼最高経営責任者（CEO）を務める辻本憲三さん（76）は奈良県橿原市に生まれた。中学2年生の時に父を亡くし、釣り具メーカーで働きながら県立畝傍高校の定時制を卒業した。

実家の隣町にある叔父の菓子卸で働いた後、大阪に駄菓子屋を開いた。ある日「店先に置いてほしい」と綿菓子製造機を持って東京から営業マンがやってきた。試しに1台置いたところ、すぐに子供たちの列ができた。お金を入れて自分で綿菓子を作る機械だったので新鮮だったのだろう。

「これはもうかる」と直感し、その会社に販売を手伝いたいと申し出た。

西日本を中心に都会だけでなく、漁村にまで足を運んで売り歩いた。娯楽の少ない田舎の方がよく売れた。今から振り返ればゲーム業界への入り口になったと思う。

1970年ごろからは米国から輸入したピンボールのレンタルを始めた。当時のピンボールはブリキと針金だけで作った部品を電気で動かす仕組み。その職人技に驚き、欧米の洗練された娯楽文化を目の当たりにした。これが世界に通用するものを作りたいと思うきっかけとなった。

世界的企業へ 大阪で開発

メダルゲームを作ることになったのだが、技術も人も足りない。そこで関西の企業とゲーム機の製造会社をつくった。電機や自動車などの産業が集まる関西のものづくりの強さを感じた。ゲーム会社としての黎明（れいめい）期を支えてもらったことが、今のカプコンの礎となっている。

■83年、大阪市平野区でカプコンを創業した。当初から一貫して世界に通用するゲームを意識し続けている。

日本企業としていち早くテレビゲームの開発に着手した。テーブルに画面が埋め込まれたものが主流で、「ブロックくずし」に似たゲームなどを開発した。87年に業務用ゲームとして発売した「ストリートファイター」は専用のメモリー基板を開発し、これまでにない複雑な操作ができるようになった。家庭用ゲーム機の高機能化に対応したことで世界中でヒットした。各地でストリートファイターのゲーム機を見るたびに誇らしい気分になる。

■2千人を超すソフト開発者のほとんどが大阪市の本社で働く。2

関西人のそろばん勘定を働かせる。

ゲーム会社にとって原価のほとんどが人件費。開発拠点は「音の出ない工場」だ。いかに人を集めるかを考えた時に大阪市中央区周辺は最適だ。住む場所が多くて家賃も東京より安い。治安も良く、子育てもしやすい。

ゲームのデジタル配信が増え、将来は24時間3交代制で世界の稼働状況を監視しなければならない。6千人は必要だが、東京では人を集められないだろう。

■大阪府・市がめざすカジノを含む統合型リゾート（IR）の誘致

誘致する側の行政が上に立つのは仕方がないが、企業活動のように5年先、10年先を見据えた計画を練ってほしい。組織は大きくし過ぎず、コンパクトにした方がうまくいくと思う。

（聞き手は大阪経済部　上田志晃）

電子版で関西のニ

もっと関西

挑む人

お茶で一服、海外に広げる

茶人　ハーブレヒツ・ティアスさん（30）

ベルギー出身ながら日本のお茶文化に魅せられ、国内に限らず海外にその魅力を伝えようとしている。「欧州各地のコーヒー文化はカフェインの効果で『ブースト（発奮）』する。日本のお茶は『一服』するもの」というのが持論だ。お茶でリラックスする風習を海外にも広げたいという。

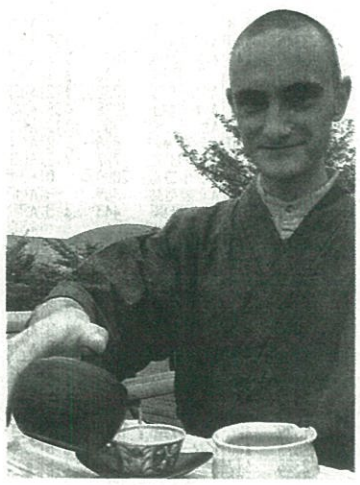
♥　✦　♠

子供の頃から「こうあるべき」という社会通念に反発。高校時代は「不良だった」と振り返る。荒れた生活のなか、テレビでみた日本の剣道に興味を持つ。それまで夢中になれるものがなかったが、なぜか心が落ち着き、家でも練習するほどに。そこで出会ったのが宮本武蔵の半生をまとめた小説。「自分を貫く一匹オオカミの生き方」に共感し、日本文化に興味を持つようになった。

2008年から関西大学に1年間留学。空手や能楽、茶道など日本文化に触れた。10年に再来日すると同大大学院に3年間通った。学費を稼ぐため4つのアルバイトを掛け持ちする忙しい日々でも、書や建築などを含む総合芸術である茶道の稽古だけは続けた。いくつかの会社に勤めるうちに遠州流茶道の師範になった。

♡　◇　♤

15年に独立して「茶ノ実鶴園」という屋号で茶葉販売などを手掛け、茶道教室も開く。ワークショップも手掛ける。ブログで英語でお茶文化を発信。海外からもお茶や日本文化に関する問い合わせも受けるようになった。「お茶を中心とした日本文化を海外で広め、いつか海外でもワークショップを開きたい」と先を見据える。



（大阪経済部　中尾良平）

JBL by HARMAN
いい大人に、いい音を。
アクティブスピーカー　オーセンティックス
JBL Authentics
年をとるにつれて、音楽の愉しみ方が変わってきた。持ち歩けることだけが重要ではない。
一曲一曲の本当の響きを堪能したい。美しいオーディオで、できれば簡単に。そんな貴方におすすめです。
芯の通った迫力のJBLサウンドをワイドレンジで。さらに、木製のキャビネットが楽器のように響くことで、音源のポテンシャルを最大限に引き出します。グリルには、往年の銘機「L100 Century」をモチーフにした独特のウレタンフォームを採用。アコースティックなデザインが、インテリアとしても上質な空間を演出します。
300W・3ウェイ スピーカーシステム
35Hz～35kH ワイドレンジ再生
ウォールナットを使用した落ち
Authentics L16
商品番号HI-002
[セット内容]
Authentics L16（スピーカー）、
●カラー/ウォールナット●素材/MDF、
●重量（約）/12.7kg●対応ワイヤレ
ジョン:Bluetooth3.0伝送範囲:Class
レオミニジャック×1、光ケーブル（角形）
合300W（50W×6）●使用ユニット/2
●周波数特性/35Hz～35kHz●最
92dB、デジタル入力:98dB●付属品/